

## V 滋賀県

事業開始日	平成18年1月1日
-------	-----------

### 1 各モデル地域の事業の状況について

#### 1) 本事業実施前の地域の状況と課題

##### (1) 事業実施の前年度の分娩を取り扱う病院・診療所・助産所の状況

	分娩を取り扱う施設			
	病院	診療所	助産所	その他(自宅等)
施設数	19	24	7	
分娩数	5595	7217	62	25

\* 施設数は平成17年の状況

\* 分娩数は人口動態統計「分娩場所別出生数」より

##### (2) 地域の産科医療の状況と課題

###### ① 行政の視点

- 産科医師不足の影響で相次ぐ産科閉鎖、縮小(過去5年間に8病院閉鎖)。
- 医師1名の開業診療所が多く、高齢化傾向にある。
- 産科医師2名以下の病院が約6割を占めている。医師不足で過酷な労働状態となっている。
- 高齢出産、不妊治療等によりリスクの高い妊婦が増加、低出生体重児も増加してきている。

###### ② 産科医療機関の視点

- 病院、診療所、助産所の役割分担、安全性の確保が必要。
- 産科医療従事者の育成研修が必要。

#### 2) 本事業の実施状況

##### (1) オープンシステム、セミオープンシステム病院概要

→平成19年12月6日現在 実績は平成18年1月～12月

病院名	全病床数	産科 病床数	MFICU 病床数	NICU 病床数	年間 分娩数	産科 医師数	助産師数
滋賀医科大学	608	42 婦人 科と混合	0	6	275	14	18